



三本桜

第29号

ふかく考える子
11月の目標：あたたかみのある子
外で元気に遊ぼう

がんばりのきく子

人生いろいろ

私たちは、人生バラ色やお先真っ暗（黒）など、気持ちや人生を色に例えることがあります。一人一人の人生は、決して同じではなく、人の気持ちもその時々で変化し、一色で表されるということはありません。それぞれの生活も、色とりどりです。世の中が、全部全て青一色であったら、改めて青という表現はいりません。他の色、例えば、赤や白といった色があり、青が存在します。また、青と赤を混ぜると、紫ができるように二つの色を混ぜた色もあります。どの色がよい、悪いではなく、さまざまな色をもってそれぞれの自分があるのだと思います。

さて、今年も残り1か月ほどとなり、子どもたちからは新しい年を意識した会話が聞かれるようになりました。新しい年への期待感、そして不安など、発せられる言葉もさまざまです。特に児童期後半は、思春期への扉を少しずつ開けながら、大人への期待や反発など、十人十色、さまざまな反応を示します。集団での学びは、子どもたちの考えを深めたり、社会性を培ったりしますが、表現の仕方は個々によってさまざまです。子どもたちは経験する中で多くのことを学びますが、今、著しい成長の過程にあります。ぜひ、今の子どもたちの姿として、一年間の成長を感じながら接していただければ幸いです。

お兄さん・お姉さんとして活躍しました（1年生）

高取こども園の子どもたちが、1年生の教室に遊びに来てくれました。1年生は園児を前にして、生活科「あきとあそぼう」で作ったおもちゃを使って園児を楽しませ、お兄さん・お姉さんらしく活動していました。園児や友達との交流を終え、今後は分かりやすく伝えようとする気持ちや相手の気持ちを考えようという心を育て、誰とでも仲よく生活できるようになることを期待しています。春になったら、一緒に高取小学校で勉強したり遊んだりできます。今から楽しみです。



子どもたちの夢の実現のために

JAXA（宇宙航空研究開発機構）の星出彰彦さんは、4歳でアメリカ・スミソニアン博物館を訪れたことをきっかけに、宇宙飛行士になりました。ただし、宇宙飛行士への道は平坦ではありませんでした。



星出さんは、実際に宇宙飛行士になるまでに2回、悔しい思いをしています。1回目は宇宙飛行士の募集が大学4年生のときにあったため、応募条件を満たしておらず、諦めざるを得ませんでした。2回目は、宇宙開発事業団の仕事をしながらか宇宙飛行士の試験に挑戦しましたが、このときは選ばれませんでした。しかし、「これで時間ができた。自分を磨く時間ができた」と、ポジティブに捉え、再チャレンジに向かいます。そして、3回目の挑戦で日本人宇宙飛行士応募者864名の中から候補者に選ばれました。宇宙飛行士の訓練は相当きつかったそうですが、水泳とラグビーで鍛えた経験を生かして乗り切りました。そして、2008年5月31日、スペースシャトルディスカバリーによってケネディ宇宙センターより宇宙へ向かいました。見事宇宙飛行士になったのです。

その星野さんが子どもをもつ親に次のようなメッセージを発信しています。

まず、「夢を見つけられない」という話をよく聞くんですけど、まずはいろんなことにチャレンジするとか、いろんなものに触れるとかということが必要なのかと思っていて、親としては、いろんなところに行くでもいいですし、いろんなスポーツを経験させるでもいいですし、いろんな世界を感じる、触れる、そういう機会を作っておけることがまず大事なんじゃないかなと思います。

子どもが夢を見つけた後は、サポートしてあげるのが大事なのかなと。もちろん、子どものすべての夢がかなうわけじゃないかもしれませんが、そこで、夢・目標に向かってがんばるっていう過程が、そのあとどんな道に進むにしても生きてくるんじゃないかと思えます。いろんなサポートの形があると思うんですけど、親として親身になって精神的にサポートしてあげるといのが大きいんじゃないかと思えます。

実は、星出さんのお父さんは、星出さんが大学4年のときに、応募資格を満たしていないのに宇宙飛行士になりたいと言ったときに、「応募資格がないのに応募してもはねられる決まっているだろう。本当にやりたいなら直談判をするぐらいの熱意を見せろ！」と星出さんに言ったそうで、そんな気概がある素晴らしい方です。その言葉に押されて星出さんは本当に直談判に行きました。このお父さんの言葉は、星出さんの中に今も息づいているそうです。

子どもたちが、「ひと・もの・こと」と進んでかわり、夢を見つけて実現していけるように、保護者の皆様とともに応援していきたいと思えます。

個別懇談会に向けて

12月13日（火）～16日（金）の四日間、個別懇談会を予定しています。「学習の到達度」「授業中の様子」「提出物」「係活動」「友達関係」「卒業・進級に向けてがんばってほしいこと」などから、いくつかを精選して話をさせていただきます。ただし、限られた時間の中では、十分な話ができないことが予想されます。何かありましたら、前もって担任や学年主任までご連絡ください。よろしくお願ひします。



医師意見書や診断書について

お子さんがインフルエンザ等、学校保健安全法に出席停止期間が定められている感染症に罹患した場合、以前は医師意見書等を提出していたおりましたが、保護者の皆様からの電話連絡や連絡帳への記載により、お子さんの登校を再開していただけます。よろしくお願ひします。